



橋北中学校だより

令和8年3月25日(水)
第12号 文責:奥田
津市立橋北中学校

第78回卒業証書授与式

3月12日、春の足音が聞こえる穏やかな日に、第78回卒業証書授与式を挙行了しました。180名の卒業生が、橋北中学校から新たな一歩を踏み出しました。

前日には、下級生が時間をかけて丁寧に準備を整えてくれました。会場には、先日の花植えボランティア活動で100名を超える生徒が植えてくれたプランターが並び、華やかな花道をつくり出してくれました。

式は穏やかな空気の中にも緊張感が漂い、卒業生一人一人がステージに上がり、卒業証書を受け取りました。その姿からは、3年間で培われた自信と、未来を見据える強い意志が感じられました。

この3年生は、決して入学当初から順風満帆な学年ではありませんでした。互いに聴き合い、学び合う関係づくりが得意とは言えませんでした。しかし、学び合いを重ね、粘り強く取り組む中で少しずつ距離を縮め、「一人一人を大切にする橋北中学校」の文化を自らの手で築き上げてくれました。特に2年生から取り組んだ探究的な学習では、将来の社会を自分事として捉え、自ら目標を設定し行動するという、真のエンジェンシーを発揮しました。それはまさに、本校が目指す「気づき・考え・行動する」姿そのものでした。

卒業生合唱では「正解」を披露してくれました。彼らが歩んできた道のりは、「答えのある問いばかりを教わってきたよ」という歌詞への挑戦そのものだったように思います。教科書には載っていない、点数では測れない、かけがえのない学びを胸に、自分自身の人生という解答用紙に、自分だけの「正解」を堂々と書き込んでいってほしいと願っています。



沖繩での経験を踏まえ、スタートした探究学習。それぞれの探究したいテーマに沿って、グループで活動を行いました。私たちが探究したいこと、そして達成したいこと、中学生として出来ることは何なのか。グループの仲間や先生方と協力して考え、私のグループでは全校生徒を巻き込んだビーチクリーンを行うことが出来ました。この活動を通して、気づき、考え、行動する力を大きく成長させることが出来ました。また、大人になっていく上で大切な力身につけ、橋北中学校の掲げる行動目標の難しさと、大切さを実感する貴重な機会となりました。中学校では珍しい探究学習に、多くの時間や労力をかけて頂いた先生方には感謝でいっぱいです。

(中略)

私たちは、多くの答えの無い問いにぶつかり、自分なりの答えを見つけてきました。仲間と共に答えを探すことも、先生方や家族に支えてもらうこともありました。そのおかげで、3年間の中学校生活を終え、私たちは今ここにいます。前へ進むことが出来ました。しかし、これからもっと大きな問いにぶつかることがあると思います。それでも、私たちにはこれまで出会ったどんな仲間とも違う、橋北中学校から出会えた仲間、先生方、多くの経験、身につけた力があります。答えの無い問いの解答用紙は私たちの人生です。模範解答は無く、私たちの人生こそが答えです。だからこそ、迷うことも、不安になることもあると思います。ですが、ここで過ごした3年間を自信に、それぞれが未来への希望を持ち、進んでいきます。私たちなら乗り越えられると信じています。

令和八年 三月 十二日
卒業生代表

1年生探究学習発表会

3月13日(金)、6限目に1年生は、この一年間取り組んできた探究学習の成果発表会を行いました。生徒たちは防災・環境・観光・福祉・交通の5つのテーマに分かれ、地域を元気にする「地域創生型の探究学習」に取り組んできました。

この日はそれぞれの研究の中から4本の研究を選び、2年生や教育委員会の方など多くの参加者の中で発表会は行われました。1年生としての探究サイクルはいったん区切りとなりますが、今後は先輩たち同様に上ノ村とのコラボレーションによる新たな探究サイクルが始まっていきます。

その学年も3年生が築いてきた探究への熱意をしっかりと受け継いでくれています。来年度の取り組みも大いに期待できそうです。



3学期に活躍してくれた各種結果です。おめでとうございます。

--	--

令和7年度の修了式を迎えました。保護者、地域のみなさまにはこの一年間、本校の教育活動に対し、ご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございました。今年度も生徒同士の縦と横のつながりを大切にし、探究的な学習をはじめ、様々な取組を進めることができました。日々の授業で仲間との距離を縮め、その関係に支えられ、行事では感動を生み出してくれました。また、保護者や地域のみなさまには子どもたちの活動する姿を見ていただいたり、一緒に活動する機会を与えていただいたりし、家庭や地域において、子どもたちを勇気づけていただきました。学校と家庭、地域がそれぞれの役割を果たし、協力しながら教育活動を進めることができた今年度でありました。

次年度に向け、私たちも今年度を振り返り、あらたな体制と活動計画づくりを進めているところです。新しい教職員集団で、いきいきと新学期のスタートを切れるよう、準備を進め、4月を迎えたいと思っております。引き続き、本校へのご支援をどうかよろしくお願いいたします。1年間、本当にありがとうございました。